



## APAN 様

技術協力：Vidyo Japan 株式会社 様 / 株式会社ユビテック 様

- 機 種 ▶ YVC-1000 : 3台、PJP-EC200 : 5台
- 場 所 ▶ 「APRICOT・APAN2015」福岡国際会議場
- 期 間 ▶ 2015年3月2日(月)～3月6日(金)
- 概 要 ▶ 福岡の会場と海外の各会場を結び、チュートリアルやカンファレンスセッションを開催。VidyoRoomHD100/HD40+YVC-1000を3会場に、VidyoRoomHD230 + PJP-EC200を5会場に設置し、計8会場で、5日間、ビデオカンファレンスが実施されました。



APRICOTは、アジア太平洋地域のインターネットインフラストラクチャーの発展のため、同地域の技術者を主に、必要な知識や技術の向上を目指し、1996年に初めて開催されました。以来、毎年1回アジア太平洋地域のさまざまな都市で会議を開催し、世界トップレベルの専門家を講師として、実用的な技術と知識の習得を図ってきました。

また、APANは複数の研究機関から形成されるアジア太平洋地域を結ぶ国際的な非営利組織です。1997年の設立以降、同地域における高度なネットワーク環境を提供し、研究者や関連する教育機関をサポートしており、半年ごとに会議が行われます。

APRICOTとAPANの共同開催は2011年に香港で行われ、61ヶ国1,100名が参加し成功を収めました。第二回目となる今回は、53ヶ国・地域、843名が参加。最新のネットワーク技術や運用知識を、ビジネス、研究、および教育などさまざまな分野で共有しあうことを目的とし、新しい研究機会やビジネスリレーションのきっかけを創出する場として、日本で開催されました。

公式サイト <APRICOT> <http://www.apricot.net> <APAN> <http://www.apan.net>

## Vidyo 製品との連携で柔軟に対応。 音響性能の良さが、海外会場の参加者からも評価。

### ● YVC-1000 活用の背景

#### YVC-1000の拡張性とPJP-EC200の信頼性を重視。

インターネットベースで運用できる会議システム Vidyo

Vidyo推奨のマイクスピーカーとエコーキャンセラー

調整が容易で柔軟な音響対応が可能

株式会社ユビテック様は、インターネット等汎用ネットワーク上で動作し、PCやタブレット端末等の標準ハードウェア上で稼働させることで、低コストで高品質なビデオ会議ソリューションを実現するVidyo社の技術を採用したクラウド型ビデオ会議システム「CanSee」Powered by Vidyoを提供しています。

今回Vidyo社と協業で「APRICOT・APAN2015」における遠隔セッションの会場サポートを行いました。そこで、特別な準備を必要とせずにインターネットベースで多地点を結ぶことができるビデオ会議システムVidyoを利用。音響設備の無い小さな会議室ではマイクスピーカー YVC-1000を選択。音響設備の用意された会場では会場備え付けのマイクスピーカーを使用しながらPAの一部にエコーキャンセラー PJP-EC200を選択。どちらもVidyoの推奨機器で、調整が容易で柔軟に音響対応ができるといった点が考慮されました。



● YVC-1000 活用の理由

Vidyo の良さを活かせる機器として選択。

Video の良さを活かせるシステム構成が可能

条件の異なる会場を YVC-1000/PJP-EC200 でカバー

外部入力が可能など、先進性にも期待

今回の「APRICOT・APAN2015」は、福岡国際会議場の8会場を使用。そのひとつひとつの会場と各国の参加者を結んでセミナーやワークショップなどが行われる大イベントで、多いカンファレンスでは、海外15拠点との国際カンファレンスが行われました。海外からの参加者の環境は、パソコンベースの設備や専用機ベースのビデオルーム等々、各々条件が異なるため、多彩なビデオコミュニケーションを取る必要がありました。そこで、ソフトウェアをベースにどこからでも多種多様なデバイスで接続できるVidyoの良さを活かすために、汎用の設備と容易につなげられるシステムとして効果が高いYVC-1000/PJP-EC200の活用を決めました。YVC-1000/PJP-EC200は、音響性能の良さはもちろんのこと、外部入力が可能など、豊富な機能、先進性も特長であり、4K/5K等に対応したVidyoの先進性ともマッチして相乗効果を期待できると考えました。また、これまでの導入実績からくる製品の安心感も選択の大きなポイントでした。



小会議室



中会議室

● YVC-1000 活用の成果

世界の会場と福岡をクリアな音で結ぶ。

すべての会場を2機種で構成

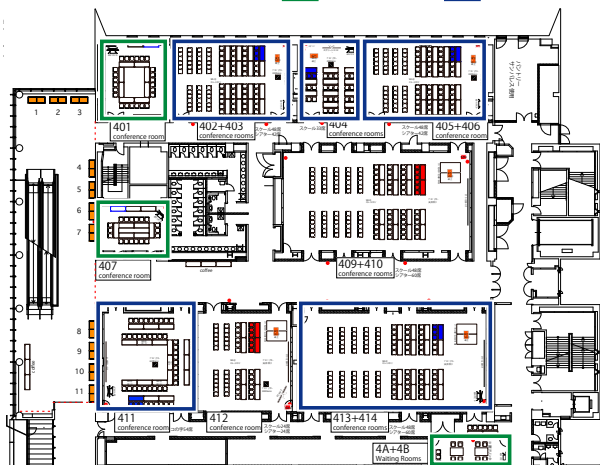
YVC-1000の外部入力機能が高評価

今後も遠隔授業等で活用を拡大

4～5人の小会議室で音響設備のない会場ではYVC-1000、マイクやスピーカーなど音響設備のある収容人数300人規模の大きな会場ではPJP-EC200を活用。海外の参加者は、アメリカ、香港、マレーシア、インドネシア、北京、上海、韓国、ネパール、ベトナム、タイ、フィリピン他。回線の環境や音響設備はそれぞれの国や拠点で異なりますが、福岡の会場ではこの2機種で音響的にトラブルもなく、クリアな音を提供。カンファレンスの成功に寄与できました。また、今回YVC-1000で、複数の会場を中継する場合にハンドマイクを使用し他の会場に配信を行うといった使い方をしました。これは他のマイクスピーカーにはない機能で、高く評価されました。今後も遠隔授業などさまざまな分野で行われるビデオ会議でVidyoを導入し、推奨システムであるYVC-1000およびPJP-EC200を中心に活用していきたいと考えています。

▼各会場での活用機種

YVC-1000 PJP-EC200



YVC-1000/PJP-EC200の製品情報はこちら

<http://jp.yamaha.com/products/communication/>

●本資料に記載された製品名は、各社の商標です。



感動を・ともに・創る

製造元  
ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1  
2015年5月作成

音声コミュニケーション機器お客様相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎03-5651-1838

■ FAXによるお問い合わせ先 ☎053-460-3489

ご相談受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら

<http://jp.yamaha.com/products/communication/support/>